

こころ育てる絵本との出会い

マウちゃん通信

2016 8 - 9 vol. 39

絵本作家インタビュー

ヨゼフ・ウィルコン

特集 人生に絵本を



Józef Wilkoń
ヨゼフ・ウィルコン

絵本を描く仕事は難しく美しい。
次に手がける絵本が、
より美しくなるよう望んで
今日まで描き続けているのです。



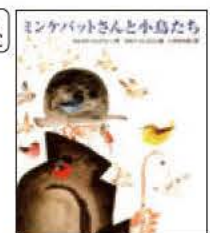
ヨゼフ・ウィルコン (Józef Wilkoń) プロフィール

1930年2月12日、ポーランド(ヴィエリチカ近郊のボグチツァ)にて生まれる。イラストレーター、画家、彫刻家、ポスター作家、舞台芸術家。クラクフの芸術大学で絵画を学ぶと同時に、ヤギエウォ大学で美術史を学ぶ。国内外の子どもと大人のための本200冊以上を手がける。また、10を超える子どもの本に自ら文章を書く。受賞多数。ドイツ児童文学賞(1964年)、子どものための作品国家賞(1974年)、全作品に対して文化大臣賞(2005年)。2010年にはポーランド再生勲章、ポーランド文化財団から金の王笏を受賞。『犬けらの人生』は、2011年の最も美しい本を受賞。2013年、世界ベストデザインの本50周年において銅メダルを受賞。2014年には子どもと青少年のための作品において、大統領夫妻賞を受賞。また、80歳と85歳の記念に国家文化遺産省の賞を受賞。世界の美術館、ギャラリーで展示を行う。ボンビドー・センター(1989年)、ザヘンタ国立美術館(2006年)では、記録的な入場者を達成する。作品は様々な美術館、ギャラリーに所蔵されている。日本国内では、射水市大島絵本館、安曇野ちひろ美術館、軽井沢絵本の森美術館など。

ヨゼフ・ウィルコン展開催

平成28年7月23日(土)~9月22日(木・祝)

原画展示絵本より



『ミンケバットさんと小鳥たち』
ウルスラ・ジェンジーノ / 作
いずみちほこ / 訳
らんか社(旧セーラー出版)



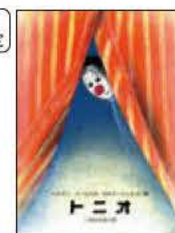
『ブラウンさんのネコ』
スラヴォミール・ウォルスキー / 作
いずみちほこ / 訳
らんか社(旧セーラー出版)



『にじ』
ジークフリート・ピールブレヒト / 作
いずみちほこ / 訳
らんか社(旧セーラー出版)



『ノアのはこぶね』
ビョートル・ウィルコン / 文
那須田 淳 / 訳
講談社



『トニオ』
ヘルマン・メルス / 作
いずみちほこ / 訳
らんか社(旧セーラー出版)



『いっしょにいたらのいいね』
バズ・ロディロ / 文
久山太市 / 訳
評論社



『にじ』
らんか社
(旧セーラー出版)

ヨゼフ・ウィルコン氏サイン入りの
絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、
ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
ヨゼフ・ウィルコン サイン本プレゼント係
締め切り 平成28年10月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。

夏のギャラリーでは、射水市大島絵本館が収蔵する、
ポーランドの絵本作家ヨゼフ・ウィルコン氏の作品をご紹介します。

ウィルコンさんに
インタビュー

絵本作家になられたきっかけは?

芸術大学の絵画科を卒業しました。その後すぐに、結婚して家庭を持ち、家族を養っていかねばなりません。そのために、本のイラストレーションを手がけ始めました。なぜなら、どうやら、私はデッサン(線描)が上手だったからです。最初の本を手がけた後、この仕事は難しく美しいとわかりました。次に手がける本が、より美しくなるようにと望みました。そして、そのようにして今日まで働き続けているのです。

画材は何を使っていますか?

私は技法を変化させたり、その方法をも変えたりするのが好きです。ですから、最初の水を使った技法、すなわちインキ、水彩などを使用していました。後にはテンペラやパステル。そして、最近では3次元の技法、つまり彫刻を本のイラストレーションに使うこともしています。この技法で『犬けらの人生』という本ができました。そこでは私が木を彫って作った犬の彫刻が使われています。

1999年5月に大島絵本館に来館され、ワークショップを行っていただきました。来館時の思い出や絵本館の印象を教えてください。

その時には私の展示と子どもたちの彫刻ワークショップがありました。木を使いました。子どもたちのたくさんの美しい作品ができました。絵本館のスタッフが、展示のために、作品を置いておくように参加者に依頼したところ、子どもたちのなかの一人が、彫刻(多分小犬だったと思います)を胸に抱きしめて、お家に一緒に連れて帰りたいと言いました。それは美しい瞬間でした。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は?

アダム・ミツキエヴィチの『パン・タデウシ』です。これは、我々ポーランド国民にとっての国民文学ともいえるもので、ギリシャ人にとつての『イリアス』『オデュッセイア』に相当するものです。このミツキエヴィチの詩に、特にその自然の描写において、自分の個人的なものを含められた感じがします。

絵本をお作りになるときのこだわりは?

文章との調和(ハーモニー)。読者へ伝わりやすいメッセージ。

絵本を通じてお伝えになりたいことは?

たくさんあります。私の自然への深い愛情と、自然の美しさ。人々、特に子どもたちへの想い。そして、何か良いことに成功した時の喜びの気持ち。

今後どのような絵本を描いていかれますか?

ちょうど今セルヴァンテスの『ドン・キホーテ』を描き終わったところです。これまでに実現できなかった、自分のアイデアに戻っていつかと考えています。

ご趣味についてお聞かせください。

森へ行くことが好きです。

日本のファンの皆さんへメッセージをお願いします。

私は何度か皆さんの美しい国に行つたことがあります。その時に私の作品を見たり、一緒にワークショップを行ったりしました。

今回また、私を見てもらえるのを嬉しく思います。

ウィルコンさん、ありがとうございました!

(協力)安曇野ちひろ美術館 松方路子

特集 / 人生に絵本を

絵本は心の糧

絵本は、0歳から100歳向きのものだと思う。
絵本は、人生において何度も何度も読み返すものだと思う。

通勤電車の中で、サラリーマンが絵本を広げている姿を想像しただけでステキだと思ふ。

たくさんの文字が並んだ本より、メッセージが多いと思う。

ボクは、そんな絵本が好きだ。一般書籍は積読が多いのだが、絵本は、繰り返し読んでいる。講演会などでも、よく朗読する。企業経営者の集まりでも朗読する。ある時、それまで注意散漫に聞いていた男性が、絵本を読み始めた真剣に耳を傾け、おまけに涙ぐんでいたことがあった。絵本効果は絶大なのである。

先日、京都府綾部市に出来た「絵本カフェ」で、絵本朗読をしてきた。カフェの名前は、「サクラティエ」。隣接する公園にある一本桜にあやかって、地域で大切にされる場所でありたいと名付けられた。

運営は、綾部福祉会で、障害のある人たちが、バームクーヘンやチョコレートを作る作業場が併設されている。カフェでは、ランチや飲み物も提供する。はらべこあむしバスタは、美味だった。

絵本の取り揃えも十分。ゆつくりとした時間を過ごせるスペースになっている。障害のあるなし問わず、地域住民の交流の場だ。

オープニングイベントとして、絵本朗読をしてほしいと依頼を受けた。日曜の午前中に、30分刻みの入れ替え制で3回読んだ。

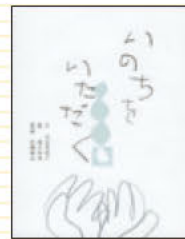
最初の回は、小さなお子さん中心、2回目、大人中心、3回目は、親子中心と、毎回聴衆が変わった。事前に用意してきた絵本に、その場にあったロングセラー絵本「はらべこあむし」をおまえ うまそ うだな」も急ぎよ加えて、場の空気を読みながら、朗読した。

絵本を読みながら、絵本は世代を超えて楽しめるものであり、読み継がれるものは、何度読んでも受けがいいものだ、と再認識した。

大島絵本館とは、20年を超えるおつきあいだ。絵本を紹介するイベントを毎年のように開催してきた。中でも、「いのちの絵本」は、ボクのライフワークにもなっている。「いのち」という重なりがちなテーマを、絵本は、やさしくあたたかく伝えてくれる。今年は、11月6日開催予定だ。

いのちのバトンが確実に手渡され、自分たちのいのちがあること。ほかの生き物のいのちをいたかくおかげで自分たちのいのちがあること。生まれるいのち、消えゆくいのち、よみがえるいのち、いろいろないのちの姿があること。これまで紹介してきた絵本は、ボクの心の糧になっている。

『いのちをいただく』
内田美智子／文
諸江和美／絵
佐藤剛史／監修
西日本新聞社
牛のまいちゃんをめぐる実話に、涙腺決壊する人が多い。



『森のいのち』
小寺卓矢／文・写真
アリス館
北海道の自然を撮影した写真絵本。いのちの繋がりを教えてもらえる。



『最初の質問』
長田 弘／詩
いせ ひでこ／絵
講談社
なにげないことを大切にしているか、ことばを大切にしているか、長田さん追慕の質問に答えを失う。



『ゆきの日』
菊田まりこ／文・絵
白泉社
誰にもあった無邪気な子ども時代。その頃を思い出せば大人も無邪気になれる。



『ぼくは小さくて白い』
和田裕美／作
ミウラナオコ／絵
朝日新聞出版
マイナス志向をプラス志向に変えると、勇気が湧き、夢に出会える。



『ぜつぼうの濁点』
原田宗典／作
柚木沙弥郎／絵
教育画劇
ぜつぼうから逃げ出した濁点の物語。絶望は必ず希望に変わる。



イベントレポート①

いりやま さとし サイン会 4/24

去る4月24日(日)、人気絵本「びよちゃん」シリーズの最新作、『びよちゃんのいもうと』が発売されたばかりのいりやま さとし先生が来館、サイン会を開催しました。



まずは実演コーナー。真っ白な紙の上で、先生が愛用のパステルと共に手を動かすと、たちまち黄色くて丸くてふわとしたびよちゃんが生まれます。その様子に集まった皆さんの口からは一斉にため息がもれました。そしてなんと、この絵はプレゼントになったのです。「このびよちゃんがほしい人!」という先生の呼びかけに、子どもはもちろん大人も「はーい!」と元気に返事し、じゃんけんの真剣勝負がはじまりました。また出版元の学研プラスさんのご協力で、ミニタオルやシールなどのびよちゃんグッズもプレゼントに…。ギャラリートークや未発表絵本の読み聞かせもあり、もりだくさんの内容となりました。



イベントレポート②

ゴールデンウィークイベント



5月1日、館内に現れた高さ4.2メートルの黒いドーム。ヒゲキタ工房の出張プラネタリウムです。夏の大三角形など星座のお話に続き、ご自慢の3D映像が投影されると「すごいーキャー!」とドームから大きな歓声が聞こえてきます。「お化け屋敷?」最初は怖そうに入っていた子どもたちも出てきたときには「もう1回見たい!」と感動体験に興奮した様子。大人も子どももプラネタリウムのとりこになったようです。また5月4日には射水市のア

イドルいみず発元ユニット、MINOのライブが行われ、連休の後半を盛り上げてくれました。観客には小さな女の子も多く、メンバーたちに振付けを教えてもらいながら一緒に踊ってくれる微笑ましい姿も見られました。



そのほか、5000個のブロックで遊べる「とやまの木であそぼう!」家族に1冊「絵本プレゼント」、「似顔絵コーナー」などが人気を集め、多くの家族連れが絵本館を満喫して行かれました。

10・11月イベント

シアター・パフォーマンスホール
おしま手づくり絵本コンクール2016
〔参加作品展〕
■とき/9月24日(土)〜10月12日(水)
〔入賞入選作品展〕
■とき/11月4日(金)〜11月24日(木)

絵本プレゼント
■とき/10月16日(日)
ご家族に1冊、当館出版絵本をプレゼント。

いのちの絵本
■とき/11月6日(日)
13時30分〜15時30分
出演/安田菜津紀(フットジャーナリスト)
村上信夫(アナウンサー)

カフェギャラリー
田村紀子 絵画展
風に吹かれて出かけよう 異国の街角や原野へ

丸山幸一 彫刻展
■とき/11月1日(火)〜11月15日(火)

豆本工務わかい 豆本と製本雑貨展
■とき/11月16日(水)〜11月29日(火)

みやこしあき 絵本原画展
■とき/9月24日(土)〜11月29日(火)

展示原画
「これだれの?」
(ともにプロダクション)

おしま手づくり絵本コンクール2016

募集がはじまります!

おしま手づくり絵本コンクール2015 最優秀賞受賞作品「海花火」

募集期間▶8月30日(火)〜9月8日(木)★必着
募集内容▶未発表の手づくり絵本
(過去1年以内に制作したものでテーマは自由)
募集資格▶作者が高校生以下であること
募集部門▶①園児の部 ②小学生の部 ③中高生の部
※詳しくはお問い合わせください。

夏休み★製本教室

2時間でハードカバーの製本をマスターできます。

都合のよい日を1日選んで予約してください。

7月	29日(金)	8月	12日(金)
	30日(土)		13日(土)
8月	6日(土)		23日(火)
	9日(火)		27日(土)

時間▶各回9:30〜11:30
受講料▶1,600円(材料費、入館料込み)
※絵や物語の制作は含まれません。

おしま手づくり絵本コンクール2016

〔参加作品展〕
■とき/9月24日(土)〜10月12日(水)
〔入賞入選作品展〕
■とき/11月4日(金)〜11月24日(木)

絵本プレゼント
■とき/10月16日(日)
ご家族に1冊、当館出版絵本をプレゼント。

いのちの絵本
■とき/11月6日(日)
13時30分〜15時30分
出演/安田菜津紀(フットジャーナリスト)
村上信夫(アナウンサー)

カフェギャラリー
田村紀子 絵画展
風に吹かれて出かけよう 異国の街角や原野へ

丸山幸一 彫刻展
■とき/11月1日(火)〜11月15日(火)

豆本工務わかい 豆本と製本雑貨展
■とき/11月16日(水)〜11月29日(火)

みやこしあき 絵本原画展
■とき/9月24日(土)〜11月29日(火)

展示原画
「これだれの?」
(ともにプロダクション)